

令和3年度町政懇談会 まちづくり事業町民説明会

- 1 開催日時 令和4年2月7日(月) ①13時30分～15時 ②19時～20時30分
- 2 会場 町保健福祉センターふれあいホール
- 3 参加人数 25名
- 4 出席者 町長、教育長、
総務課長、企画調整課長、健康福祉課長、教育委員会事務局長

5 次 第

- 1) 町長挨拶
- 2) 令和4年度予算(案)の概要について(資料により担当課長説明)
- 2) 事業報告(資料により担当課長説明)
- 3) 質疑応答

6 質疑応答

(1)地域公共交通について

Q1	町がスクールバスを購入し運行するということですが、ほかの目的、災害の避難とか、そういうのに使うことを想定していますか。
A	スクールバスは国庫補助金を受け購入し、子どもたちの登下校に使用することが基本となりますが、届出によりほかの用途に運用しても構わないと聞いていますので、自主運行バスの補助ができないか、各種事業で町外へ行く際などに活用できないか等、今後検討していきたいと考えています。
Q2	小学校の子供たちのスクールバス利用料は発生しないということによろしいですか。また、スクールバスを運行するならば、中学生も乗せてはどうかという意見もあります。保護者による中学生の送迎のため、来宮橋が渋滞して危ない。ぜひ、これから時代を創る子どもたちに対して、危なくない教育ができるように、しっかりしていただきたい。
A	スクールバス利用料については無料です。統合小学校の児童数に対応できる台数を検討し、来年度の小学校統合費5,000万円の中でバス4台を購入予定です。 中学生への対応ができるかはこれから検討する予定で、幼稚園送迎バスを東海バス(株)に委託していますが、このバスについても活用できるか合わせて検討したいと考えています。

(2)バガテル公園について

Q1	バガテル公園が再生されることを祈っておりますが、パリーバガテル公園の姉妹園として、例えばバラ以外は園内に植えられないとか、出来ないことなどの制約があるのか教えてください。
A	河津バガテル公園は、バラ園とフランス広場とで構成されていますが、バラ園の方については恒久的な建物を建ててはならないといった規定があります。しかし、今年度についても、バラ園にドッグランの整備等を行っています。恒久的なものではなく、今後どうしても必要なものは取り入れながら、バガテル公園の品位を保った中で対応していきたいと考えていますので御協力をお願いします。

Q2	<p>バガテル公園は町民から見ると敷居が高く感じます。私は桜の守人もやらせてもらっていますが、守り人制度は町が作り、今やっと定着して活動できています。そういったのが本当の町民の力だと思うのですが、バガテル公園もサポーターみたいな組織をつくって、みんなでやろうという意思があれば、花が好きな人など、住民の方がボランティアで草刈りや花壇の手入れなど、みんなでやるっていうのもありかなと思いますが、いかがでしょうか。</p>
	<p>ご質問のように町民の方に愛される公園じゃないといけないと私も思っております。今まではどちらかという、なかなか行きにくい感じもあったと思いますが、文化祭をバガテル公園でやっていただいたり、テナントの方がいろいろイベントをやってくれたりする中で、ここ1、2年、町民の方の利用が大変増えています。ただ、残念なことに、コロナ禍ということがあって収益事業にはなっていません。それが1番大きな問題です。</p> <p>せつかく町民利用も増え、いろいろな交流の中で少し先が見えてきたこともあるので、バラ園はバラ園として残しながら、新たな民間の方に協力を願って、フランス広場周辺をもう少し町民の方が来やすいような、そして町民の交流が来やすいよう、あるいはその子供たちが来やすいような、そんな試みができるとよいと思います。</p> <p>これからも町民の方に親しまれ、文化の香りがする公園として、バガテル公園を再生していきたいと思っておりますし、おっしゃったようにボランティアの力を得られれば、それもいいことだと思いますので、いろいろな協力を得ながら新たな再生に向かって令和4年度も取り組んでいきたいと思っております。</p>
Q3	<p>バガテル公園の指定管理者は一般事業者を募集することと思いますが、以前にも同じことを行い不調に終わったとのことでした。今後、今と同じようなやり方では、また同じことの繰り返しだと思われます。募集する手立てや広報など、何か考えがあるようでしたら教えてください。町が本当にやる気があるなら、もっと力を入れたほうが良いと思います。町民の負担を減らしていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。</p>
	<p>前回、指定管理者の公募をし、不調になりました。7社ほど関心を示していただきましたが、最終的には手を挙げた事業者がなかったというのが結論です。</p> <p>前回指定管理が不調に終わった理由は、見直さなければなりません。指定管理料と指定管理の期間を見直しています。また、企業の提案を尊重したいと思っております。収益に繋がる運営をしなければならない中で、どうすれば収益につながるのか、提案していただくことを考えています。この提案の内容について、町としては過疎債等を使用し、改修できるものは改修したいと考えています。ただ、バガテル公園のローズガーデンの部分は、現状のものを維持したいと考えています。</p> <p>不調に終わった後、原因を見直し、今回再募集に至りました。私としてもこれ以上皆さんに負担をかけるのは問題だと思いますので、令和4年度中に方向性が決まらなければ一部休業するくらいの覚悟で取り組みたいと思います。そして、令和5年度からバガテル公園再生をしたいと思いき、条件を変えて指定管理者の再募集をしていきます。令和4年度4月から募集活動に入りますので、9月ごろまでには方向性を決めたいと思っております。</p>
Q4	<p>バガテル公園が好きでよく行きます。町営になって入園者数が減っている原因はつかないですか。</p>

	<p>町は観光宣伝に関しては、少し疎いのかなと思います。令和2年度は、コロナの影響で来園者が減少したと思っています。町が運営をしていきますと、観光の宣伝できる範囲が限られてしまいますので、入園者数が伸びなかったと思っています。</p> <p>それらを踏まえて、再生検討委員会の中でも、民間の力を入れて多くの人に来てもらえるような体制をとったらどうかとお話をいただきました。</p>
--	--

(3) 過疎地域について

Q1	<p>過疎というと恥ずかしい印象を受けますが、恩恵があるという説明を受けました。逆に過疎に指定されたことによって生じるデメリットはありませんか。</p>
A	<p>今まで賀茂地区1市5町のうち、河津町と東伊豆町だけ過疎地域に指定されていませんでしたが、新過疎法の新しい指定基準により、新たに河津町が過疎地域になりました。賀茂地区の現状を見ると、人口減少、少子高齢化が重要な課題であり、そのために今までも子どもや働く人を増やすことによって、人口減少、高齢化を防ぐ施策を行ってきました。今年度から過疎債（借金だが、返済に国から7割の支援がある）を使うことで、新たな取り組みができます。来年度、2億2000万円の事業を実質6,600万円ほどの負担で実施することができます。今年度も子育て支援施設を急遽途中から、過疎債が適用になるよう更正をしました。イメージとしては、過疎というと沈んでいく一方という感じですが、過疎脱却のために過疎債を有効に使っていきたいと考えています。</p>
Q2	<p>過疎地域の指定から外れる見直しもありますか。</p>
	<p>新過疎法は10か年で見直しがあるため、変わる可能性も十分あります。指定の基準となる財政力指数、人口減少率についても、制度の見直しが随時あり、指標となる令和2年国勢調査の結果が今後確定していくことによって、全国では来年以降新たに過疎になる地域が出てくるという報道もされており、増えたり減ったりということは今後ありうると考えています。今回の町の過疎計画は5か年計画とし、見直しながら進んでいきます。過疎地域の脱却は基本的な考え方であり、取り組んでいきたいと考えています。</p>
Q3	<p>国が民間人の経験者を派遣し、産業などの活性化を図る制度があるという新聞記事を見ました。河津町にも派遣の人が来るのでしょうか。その人に町としてどういうミッションを与えて過疎を改善していくのでしょうか。</p>
	<p>人の配置を国が考えるという制度があるのは承知しています。ただ、国から人を配置してもらうことは考えていないのが現状です。どのような業務をお願いするのかなど、今後検討しなければなりませんので、現段階では人の配置を考えていません。</p> <p>ただ、この過疎法はほかにも地域おこし協力隊や地域支援員という制度もありますので、それらの制度を活用していきたいと思っています。</p>

7 意見交換

(1)町の事業と事業への責任について

Q1	<p>事業に対する議会での町の答弁では「ローリング方式」とか「見直す」という言葉を使いますが、わかりやすく説明してもらいたいです。また、「ローリング方式」とか「見直し」という言葉に甘え、町の事業に具体性とか計画性がなく、責任が明確にされないのではないかと感じます。</p>
A	<p>いろんな計画を作るときに一度に全部出来ないため、例えば10年間、5年間を一区切りとして見直しをしながらやっていこうというのが、ローリング方式です。現在、毎年、ローリング方式で予算策定をしており、総合計画、過疎計画もこの方式で行いました。大体3年ぐらいを一つのスパンとして見直しを行っています。</p> <p>計画を進める中で情勢の変化もあります。特に今年はコロナで事業説明が出来なかったこともありますので、ローリングというのは責任逃れではなくて、計画の具体化を進めるため、いろんな順番を決めていくことと、資金の計画を考えることです。計画を進めるために、ローリングをやっています。これは責任逃れではありません。</p> <p>それから責任については、当然、町長として選挙のときに皆さんにお約束したことがあります。冒頭挨拶で言ったように、コロナ対策を優先課題として取り組む、2番目に今まで公約でやってきたこと、また公約として述べてきたこと、やっていきたい。そういう形で、私としては事業を進めています。最終的には、みなさんが選挙という形の中で判断されると思っています。責任を持って、説明会、あるいは広報等で発信することが、皆さんに興味を持っていただけるし、責任を果たせると考えます。当然それには、議会での答弁、あるいは議員の皆さんに答えることもあると思いますけど、そういう中で責任を果たしていきたいと思っています。</p>

(2)ワクチン接種について

Q1	<p>コロナで大変な時期ではありますが、ワクチンについて国は前倒して打つよう言っており、昨年6月に2回目を打った高齢者はもう打ち始めているはずですが、河津町に関しては何で2月の終わりなのでしょう。県は定量分のワクチンはもう町に届いていると言っていますが、町は桜まつりがあるから接種を遅らせているように見受けられます。何を優先して接種をやっているのか聞きたいです。</p>
A	<p>国の方針が変わる中で、通知を出すにもコンピュータ等の仕組みを変えなければならぬなど、すぐには対応できません。桜まつりの関係ですけど、当然町民の命を守ることが第一です。そして産業振興も大事です。昨年中止してもどうしてもお客さんが来たことから、その反省を踏まえて管理をすることが町民の命を守ることにつながるということで、今年是对策をしながら管理をしましよと実行委員会の中で決定しました。それに従ってやっています。ワクチン接種については、桜まつりだからとかそういうことじゃなくて、いろんな条件の中で今の結果になったということです。詳しくは担当課長から。</p> <p>当初の国からの説明に基づき、2回目接種から8か月をすぎた方から順番にファイザー社製ワクチンを打つ準備をし、1月から医療従事者の接種が始まり、2月のはじめから高</p>

	<p> 齢者施設の接種を始めています。一般の方への接種については、接種間隔の短縮や必要なワクチン数の約半分はモデルナ社製になるという情報がありました。国の方針の転換の中で、医師と相談しながら接種計画を作り、モデルナは早めに入るとわかったので、高齢者の方にできるだけ早く打っていただけるよう、急遽2週間の前倒し接種を行いました。また、モデルナは若い方に副反応が強くでるとのことですので、町としては、できるだけファイザーを若い方に残していく計画です。早く実施したいのはやまやまですが、国の方針がすぐ変わるなか町も努力していきますのでご了承ください。なお、県から2,000人分程度のワクチンはすでに届いています。 </p>
--	--

(3) 統合後の小学校跡地の計画について

<p>Q1</p>	<p>小学校が2校廃校になって、来年使われなくなりますが、再使用する計画がありますか。また、計画づくりは今年度中からやらないといけないと思いますが、予定はありますか。</p>
<p>A</p>	<p> 令和5年度に小学校が統合されると、西小学校と東小学校は当面使わないようになると思います。今の施設をそのまま使うのか、壊すのか、売するのか、方向性をはっきりした中で、基本的な方向を町民の代表の方にご検討願えればと思っています。 </p> <p> 全て町がやるのは難しいと思っていますので、場合によっては民間と一緒にやることも、大事なのかなと思います。東小西小それぞれ特徴があり、その進入路の問題等いろいろな問題もあるので、どういった活用がいいのか、その基本的な方向をまず委員会を立ち上げて決めてもらって、その上でもう少し検討していきたいと思っています。 </p>